



超・実践型 公開研究会 in Fukuoka 2014

# 「被災地のその後」と こども☆ひかりプロジェクト

2011年3月11日から3年が過ぎました。報道などで、東北各地の復興のようすが報告されていますが、しかし、実際に復興がどのように進んでいるのか、現地の人々がどのような思いで過ごしているのか、九州という地にあっては、実感をもって理解することは難しいように思います。この研究会では、震災から3年たった現地のように、この活動に関わる人たち、とりわけ東北の若者たちに今の思いを語ってもらいます。さらに、福岡の、九州に住む我々が、彼ら、彼女たちとともに「東日本大震災のその後」をどう考え、そして、ミュージアムを通して、何を想像/創造できるかを、みんなで「とことん語りあいたい」と思います。



## こども☆ひかりプロジェクトとは？

私たち「こどもひかりプロジェクト」は、2011年の震災直後に「被災した子どもたちをミュージアムの力で元気づけたい」という思いから、ミュージアムに関わるメンバーにより、発足しました。

活動開始から3年の間、被災各地で、フォーラムやワークショップフェスティバル、キャラバン（いわゆる移動博物館）などを実施し、そして、昨年は福島の子どもたちにまっぼっくりやどんぐりをプレゼントする「2個にこプログラム」を行いました。さらに、仙台・福島を中心とする学生たちが主体的に関わるミュージアムネットワークでユースの社会力UP!プロジェクト」を開始しています。

活動のくわしい情報はホームページで <http://www.kodomohikari.com/>

**2014年3月30日(日)13:00~16:30**

**福岡アジア美術館 あじびホール** (福岡市博多区下川端町3-1 8F)

主催:こどもひかりプロジェクト

13:30	開会	総合司会 蒲池昌江
13:35	講演1	「想像と創造。私たちのチャレンジ」 清水 文美 (こどもひかりプロジェクト代表)
14:00	講演2	「ミュージアムと、コラボと、私・・・」 三上 響 (東北大学)
14:30	講演3	「コラボを広げる力になりたい」 池内 至誠 (早稲田大学)
15:00	報告1	「2個にこプログラム」 ～松ぼっくりでつなげる未来～ 泉田 佳代 (石橋美術館)
15:30	休憩	
15:40	報告2	「未来へ向けて、新ジャーナル発進」 征矢 彩香 (宮城学院女子大学)
16:00	総合討論	会場のみなさんと一緒に
16:30		



つぎのような方々のご参画をお待ちしています。  
意欲のある、若者/大学生・企画CSRご担当者・  
ミュージアムボランティア・ミュージアム関係者

\* 参加費 一般1000円 学生無料!

### 申込方法

参加者全員の氏名、年齢、代表者の住所、電話番号、メールアドレスをお書きの上、ファックスもしくはメールにて下記までお申し込みください。

### \* 申込先

FAX 092-263-1105  
(福岡アジア美術館内 蒲池宛)  
E-mail kodomohikari.fukuoka@gmail.com

\* 定員 120名 ※要申込

\* 〆 切 定員に達し次第

\* 問合せ 090-9119-2005(こどもひかりプロジェクト:清水)  
または上記電子メールで

